

令和5年10月10日戸田市長 菅原文仁 様
令和6年度 戸田市予算編成における重点施策の要望書

令和6年度 戸田市予算編成における重点施策の要望書

新型コロナウイルス感染症の分類が5類に移行し、私たちは新しい生活様式の中で日常の活気を取り戻しつつあります。市内のイベントが「約4年ぶり」の開催となり、地域社会は少しずつ賑わいを取り戻しつつあります。しかし、この数年間で失われた地域コミュニティを再び活性化させることは容易ではなく、希薄となった人間関係や地域社会の再構築など、多くの課題が考えられます。

住民福祉の向上のためには、財政における予算配分が大変重要となってきます。市民生活に直結する支援策はもちろんのこと、本市が力を入れている未来への投資である「教育日本一」に向けたさらなる教育政策の充実、未来の宝である子供たちに対する子育て支援対策の強化、地域防災の充実、都市基盤・公共施設などの見直し等、取り組むべき課題が多くあります。

一方、本市としては、これまでに市民や事業者を対象とした物価高騰対策として経済支援を進めてきました。こうした支援策について効果検証を実施するとともに、市民の安全・安心なくらしが守られるよう更なる支援策の展開をお願いいたします。

若い人も高齢者も多世代に渡り元気なまちでありつづけるために、本市の行財政運営に関しては、先々を見越した対応が求められており、議会のみならず、市民の関心も日に日に高まっております。

私たち戸田の会は、二元代表制の一翼を担う議会の一員として、日々住民福祉向上のため活動しています。こうした活動の中から、わが市に資すると考える事項を「令和6年度戸田市予算編成に対する要望書」としてとりまとめました。厳しい財政状況下ではありますが、特段のご配慮を賜りますよう、ここに要望いたします。

戸田市議会会派 戸田の会
代 表 酒井 郁郎
幹事長 浅生 和英
佐藤 太信
矢澤 青河
野澤 茂雅
宮内そうこ

<重点政策>

1.公共施設の再編

○スポーツセンターの老朽化対策にあたっては、アクティブスポーツをはじめ、障害者スポーツへの対応、防災施設としての活用等を考慮すること。また、建て替えを検討すること。

○西部4施設（美笹中、西部福祉センター、美谷本小、笹目小）の建て替えにあたっては、利便性や将来性を考慮したまちづくりの視点と地域の声を取り入れ、複合化も視野に入れた再編を検討すること。

2.子育て、子ども、若者

○安心して子どもを産み育てる環境を整備すること。産前産後からの母親支援、子育て相談支援体制の充実、保護者の孤立防止等、取り組みをすすめること。

○子育てにおける金銭面・労力面の負担軽減を図ること。小中学校における金銭負担の軽減を推進すること。

○子ども・若者への支援体制を強化すること。SC、SSW等の配置増強、アウトリーチ強化を行い、不登校、引きこもり、発達支援等への切れ目のない支援を推進すること。

3.防災・国民保護、安心・安全

○災害・有事における地域組織の体制強化を図ること。従来から想定してきた地震・水害に加え、核攻撃や紛争についても想定し、備えを進めること。

○川岸地区に新設される大型物流施設の周辺道路整備を行い、安心安全を確保すること。

4.高齢者、障害者

○中高年の健康増進や社会参加について総合的な施策を推進すること。運動施設の利用促進や移動手段の確保、生きがい就労、社会活動の提供、生活習慣病予防策の充実、認知症のケア等、検討すること。

○障害者のノーマライゼーション推進を図ること。障害者雇用の促進や環境整備等、障害当事者の声を反映する仕組みづくりを進めること。

5.ICT、地域政策

○ICTを活用した利便性の高い社会の構築を進めること。行政手続きのリモート化、ワンストップ化、キャッシュレス化の拡充を推進すること。

○地域政策の実施体制を強化すること。地域担当職員の活用や学校運営協議会との連携で、町会負担を軽減するとともに地域政策の実効性を高めること。

市長公室

	要望（やる事）	摘要（ねらい・効果・具体策等）
1	各部局・団体等、広報戸田市以外の印刷物の適正化	・広報戸田市の紙面への掲載や併配
2	戸田市のさらなる魅力発信の推進	・SNS等のインフルエンサー、スポーツ団体等を活用した広報

総務部

行政管理課、人事課、管財入札課、（（会計課））

	要望（やる事）	摘要（ねらい・効果・具体策等）
3	公共施設にユニバーサルシートを設置すること	・幼児期から高齢者までオムツ替え等の目的で使用できるシートの設置
4	職員の市内居住を促進すること	・家賃補助制度の導入等によるインセンティブ化 ・災害時の迅速な対応や平時の市内状況把握

5	【人事制度改革】採用する人材の質向上を図ること	・応募要件の緩和、応募や受験における利便性への配慮 ・受験者の適性・能力の的確な測定氷河期採用等の実施
6	【人事制度改革】場所・時間にとらわれない柔軟な働き方を推進すること	
7	【人事制度改革】多くの職員が評価する「多面評価」を導入すること	
8	【人事制度改革】年功序列による弊害の解消を図り、責任に応じて処遇すること	
9	【人事制度改革】同一労働同一賃金の給与体系を導入すること	
10	【人事制度改革】戦略的な職員育成を行うこと	・幹部人材の育成や専門性の強化等
11	【人事制度改革】適性や異動時期について柔軟な人事異動制度を導入すること	・引継ぎを円滑化し、定期異動による業務水準の低下防止
12	【人事制度改革】選ばれる市役所、優秀な人材確保を図ること	・中途採用のさらなる活用、人材流動化を前提とした人事制度の補強など
13	【人事制度改革】障害者雇用の推進を図ること	・職員同士が支え合う体制の確立 ・精神障害者採用の促進等 ・能力のある重度障害者が働ける職場環境整備
14	職員のメンタルヘルスに関する環境整備を推進すること	・マインドフルネスの活用などを行い、様々な状況に対応可能な施策の整備 ・匿名通報窓口
15	入札契約制度の改善を図ること	・コストを抑えた公平公正な公共調達、一社応札の是正 ・市内事業者の優先的参入機会の確保（参加条件の適正緩和、仕様の見直し、分割発注など）
16	投票率向上を図ること	・身体・知的障害者が投票しやすい投票所環境の整備等 ■広報、啓発活動の強化
17	市役所駐車場の改修とともに市庁舎のバリアフリーを進めること	・高齢者や障害者が利用するための屋根付き駐車場の設置 ・多目的トイレの設置、障害のある職員が働きやすい職場環境の整備
18	長期的な視点にたって市役所の増設や建替えの検討をすること	・長期的なコストの抑制。防災機能

企画財政部

共創企画課、財政課、デジタル戦略室、資産マネジメント推進室、市民税課、固定資産税課、収納推進課

	要望（やる事）	摘要（ねらい・効果・具体策等）
19	西部4施設（美笹中、西部福祉センター、美谷本小、笹目小）の建て替えに合わせた再編について、地域との協働により検討すること（教育委員会にも掲載）	・地域住民が利用できる公共施設 ・長期的な活用を前提とした汎用性のある施設
20	公共施設の余剰スペースを利用し、放課後の勉強スペースを増やすこと（教育委員会にも掲載）	・市役所の空き会議室や地下の飲食スペース、中央図書館のロビースペース、その他公共施設の会議室を含む遊休施設などへ設置を検討
21	公共施設や道路、樹木等の包括管理を行うこと	・予算効率化や職員の負担軽減、地元企業の育成等
22	口利き防止条例を制定すること	・不当要求に対する抑止

23	公共施設総合管理計画、再編プランの見直しにあたっては、費用対効果を考慮し、施設機能向上に資する方法を検討すること	<ul style="list-style-type: none"> ・複合化の検討（汎用性の高い効率的な施設） ・市民や民間からのアイデアを広く募集、検討する機会等
24	債権確保について民間ノウハウの導入を図ること	<ul style="list-style-type: none"> ・収納率の向上
25	自治体情報システム標準化を着実に推進すること	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的プロジェクト体制の確立と優秀なIT技術者の確保 ・業務改善機会の有効活用
26	生成AIに関して、有効かつ安全に活用する方法を確立すること	<ul style="list-style-type: none"> ・ChatGPTに関する調査研究をはじめとする、様々な生成AIに関する研究
27	行政評価の積極的な活用による業務の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・職員のコスト意識の醸成 ・市民等の行動変容など実態のある効果検証
28	市職員の働き方改革を推進すること	<ul style="list-style-type: none"> ・DXによる業務の効率化 ・定期的な業務や事業の見直し

危機管理防災課

	要望（やる事）	摘要（ねらい・効果・具体策等）
29	マイタイムライン作成のさらなる推進をすること	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットやスマホによる作成（学校タブレット等） ・幅広い市民への啓発等。
30	ハザードブックにおける情報保障や配布後の活用を進めること	<ul style="list-style-type: none"> ・音訳・点訳等障がい者への合理的配慮 ・ハザードブック活用した講座や訓練等の実施
31	福祉避難所について災害を想定した運用見直しを進めること	<ul style="list-style-type: none"> ・移送の判断や方法、要支援者の受け入れ環境や許容人数等様々な課題の想定 ・一般の避難所における要配慮者の受け入れ体制
32	自主防災組織の単位を町会単位から学区単位等へ見直しを図ること	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化や担い手不足による町会の自主防災組織の存続危機に対し、学区等広域の連合組織を編成することによる自主防災組織の負担軽減や学校・PTA等地域各種団体との連携、幅広い人材の取り込み
33	避難所に関して、自主防災会が中心となって運営する体制にすること	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災会の避難所運営リーダーの優先順位付け ・自主防災会による避難所確認訓練の定期的実施
34	災害時要支援者制度の運用について健康福祉部との連携を進めること	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時要支援者制度と登録者数が伸びない現状にある「お願い会員、まかせて会員」との関連の明確化。登録までとその後のフォローアップ
35	水害時における事前の広域避難、垂直避難を推進すること	<ul style="list-style-type: none"> ・広域避難計画の策定、広域避難場所の確保、事前の周知啓発の徹底等 ・水害時に高速道路へ避難できる体制を整えること ・バスや大型車両による広域避難体制の整備
36	災害時の被害状況、必要な情報を市民と共有できるシステムを構築すること	<ul style="list-style-type: none"> ・国県や市の各部局の持つ災害情報の一元化 ・市民とのリアルタイムな情報共有体制
37	中学生防災士の更なる増員と活用を進めること	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練や水害訓練等における活用など

消防本部

	要望（やる事）	摘要（ねらい・効果・具体策等）
38	救急体制の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・車両や人員の拡充 ・搬送先の確保やシステム化による適切な搬送 ・救急の適正利用の啓発（#7119、#8000周知等）
39	NET 119の制度について周知啓発を推進すること	<ul style="list-style-type: none"> ・制度があまり知られておらず、登録者数が少ない

市民生活部

市民課、協働推進課、くらし安心課、文化スポーツ課

	要望（やる事）	摘要（ねらい・効果・具体策等）
--	---------	-----------------

40	小学校区単位の地域コミュニティ協議会を検討すること	<ul style="list-style-type: none"> ・地域担当職員制度は小学校単位を検討すること ・町会負担の軽減や地域要望の聴取機能の強化 ・コミュニティ活動の活性化や支援を図るための適切な人員人材配置
41	負担軽減対策など町会の課題解決の支援をすること	<ul style="list-style-type: none"> ・未加入者の増加・役員の高齢化等に対応するためアドバイザーの派遣など ・子ども会・敬老会等の運用支援やアドバイス
42	市管理運用の防犯カメラの増設を行うこと	<ul style="list-style-type: none"> ・増設と共に、犯罪抑制効果を最大限に活かすため、防犯カメラ設置の啓発看板や垂れ幕等の設置
43	スポーツセンターの再編においては、長期的なコストの抑制や多様化するニーズに合わせた整備を進めること	<ul style="list-style-type: none"> ・長期的なコストの抑制。多様化するスポーツ環境や障害者スポーツへの対応、防災施設としての活用等、建て替えを選択肢として検討
44	障害者スポーツの推進を図ること	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者にやさしいまちを目指し、パラリンピック、デフリンピック（2025年）、アビリンピック等の周知啓発を含めたイベントの開催 ・車椅子等の障害者がスポーツできる環境の整備
45	アクティブスポーツ等多様化するスポーツ環境を整備すること	<ul style="list-style-type: none"> ・協会や団体がないスポーツは競技者の声が市に届きづらい。イベントや教室の開催、アンケート調査等によりニーズを把握し、環境整備を行う事
46	市民がボートに親しみやすい環境整備を行うこと	<ul style="list-style-type: none"> ・「ボートのまち戸田」として、ボート関係の大学や企業、団体等で構成される協議体の立ち上げ、国県市と連携した戸田ボートコースや彩湖におけるボート競技の環境整備
47	町会に設置したwifiの活用推進を図ること。	<ul style="list-style-type: none"> ・活用の提案、デジタルアドバイザーの派遣など人的金銭的運用の負担を軽減すること。
48	生活保護ケースワーカーの確保等、生活支援に関わる人員の拡充すること	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の質の確保、負担軽減
49	町会負担の軽減対策に取り組むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・加入促進、充て職、国勢調査、民生委員・児童委員推薦、寄付金の集金など
50	学校開放時の体育館におけるエアコンの利用を常時可能とすること	<ul style="list-style-type: none"> ・有料使用の検討
51	ボートのまちコンソーシアムによるボートコースを活かした街づくりを推進すること	<ul style="list-style-type: none"> ・ボートのまちコンソーシアムの早期発足 ・ボート競技とボートのまちづくりを促進 ・市民がボートに親しめる環境の促進

環境経済部

経済戦略室、環境課、みどり公園課

	要望（やる事）	摘要（ねらい・効果・具体策等）
52	商工会と連携を図り、飲食店等の民間事業者の合理的配慮の推進を図ること	<ul style="list-style-type: none"> ・合理的配慮に係るツール等の支援、実態把握や啓発
53	ふるさと納税返礼品の開拓と納税額向上を強化すること	
54	プレミアム商品券事業を評価検証し、見直しを含めた事業の展開を図ること。	<ul style="list-style-type: none"> ・キャッシュレスの利用範囲拡大（例：審議会等の謝金やボランティアの報酬など受け取れるようにする等）
55	ゴミ問題の研究と対策を行うこと	<ul style="list-style-type: none"> ・分別収集の手間、ゴミ処理に要する資源や経費、環境への負荷、特に非効率なリサイクル ・ゴミの戸別回収、有料化等を含む調査研究
56	不法投棄対策の効果検証を行うこと	<ul style="list-style-type: none"> ・効率的な日中における巡回回収、看板や夜間の青パトによる啓発

57	ごみ集積所における適正管理を推進すること	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人へのルール啓発、分かりやすいごみ分別ポスター等の設置 ・不法投棄対策（防犯カメラや人感センサー照明） ・不法投棄の回収までの期間短縮
58	給水スポットの設置などプラごみ削減のための対策を行うこと	<ul style="list-style-type: none"> ・特に2R（リデュース、リユース）の推進
59	リサイクルフラワーセンターの再編・見直しをはかること	<ul style="list-style-type: none"> ・生ごみバケツ堆肥化事業の見直し ・民間事業者を活用した障害者雇用の質・量の向上
60	市内3駅の副流煙対策を進めること	<ul style="list-style-type: none"> ・空気清浄機と排気機能を備えた喫煙空間の設置などの分煙対策
61	特定外来植物ナガエツルノゲイトウの繁茂状況の確認と状況に応じた駆除対策を図ること	<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリングと駆除作業への協力 ・駆除作業に対する助成制度の導入
62	保護猫活動の課題に関する施策を改善・推進すること	<ul style="list-style-type: none"> ・「殺処分ゼロ」を目標に、TNR活動や里親会等、県補助金等を活用した地域猫活動を支援と申請負担の軽減
63	ボール公園、インクルーシブ公園の整備を進めること	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもや家族、高齢者、障がいを持つ方等の幅広いニーズや視点の反映 ・既存公園をボール公園へと柔軟に変更できる環境整備
64	彩湖・道満グリーンパークの魅力向上と大規模な改修を検討すること	<ul style="list-style-type: none"> ・アスレチック施設や、釣り堀のリニューアル、キャンプ場、ウォーターパークなど ・運動場における更衣室等の設置

健康福祉部

福祉総務課、生活支援課、障害福祉課、健康長寿課、保険年金課、福祉保健センター、ワクチン接種対策室、市民医療センター

	要望（やる事）	摘要（ねらい・効果・具体策等）
65	住宅支援事業の効率化を進めること	<ul style="list-style-type: none"> ・市ソーシャルワーカーの増員と総合支援の検討
66	「健康福祉の杜」経営の健全化、透明性・組織統治の強化を図ること	<ul style="list-style-type: none"> ・市助成金に頼らない事業努力、将来を見通した予算の活用等による経営健全化
67	新型コロナワクチン接種による医療被害の救済・啓発を強化すること	<ul style="list-style-type: none"> ・ワクチン接種による後遺症に係る医療費の救済、後遺症事例等の周知
68	成年後見人制度におけるミスマッチを解消すること	<ul style="list-style-type: none"> ・成年後見人制度のメリットやデメリットを理解した上での導入や職員や当事者の理解促進の徹底 ・利用時の詐欺等のトラブルの保護やミスマッチの相談対応 ・市民や家族による成年後見人の育成推進
69	特定検診受診率を向上させること	<ul style="list-style-type: none"> ・受診しやすい環境整備を進めるために、受診対象者に具体的取組の事例提示等
70	化学物質過敏症に関する周知啓発の強化すること	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や事業者に対しての周知啓発 ・相談員に対しての学習会の実施
71	障害者の就労支援を改善すること	<ul style="list-style-type: none"> ・一般就労できる民間の誘致や開拓を市や就労支援センターが積極的に実施
86	民間の経験と知見を活用した障害者就労支援を推進すること	<ul style="list-style-type: none"> ・公共の施設や用地を活用した誘致や、開業やへの適切な支援等
72	親なき後の支援を進めること	<ul style="list-style-type: none"> ・親なき後を見据えた居住支援、民間事業者との連携によるグループホームの誘致
73	生活保護ケースワーカーの確保等、生活支援に関わる人員の拡充すること	<ul style="list-style-type: none"> ・要員の質の確保、職員負担の軽減
74	障害者施策推進協議会構成メンバーの見直し等、当事者の声を反映される仕組み作りを進めること	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者総合支援計画が活かされるような実行力のある協議会への見直しや、市の施策を進めるにあたって計画・実施・評価に当事者の声が反映される仕組み作り

75	重度心身障害者の通勤・通学による行動援護を助成対象とすること	・重度心身障害者の行動範囲が広がるとともに、自立を促し税金を納める対象者となる
76	気軽に利用できる運動拠点等、中高年の健康増進を進めること	・公共の体操施設や運動施設の利用促進 ・民間ジム等を活用した高齢者の健康増進 ・公共施設でのウォーキングステーションの整備
77	ダブルケアラーやヤングケアラーに関して、重層的支援を行うこと	・ワンストップの窓口設置による、切れ目のない、部局横断した重層的な支援 ・関係機関との情報共有や実態把握に努めたアウトリーチによる支援
78	高齢者の健康増進、健康意識向上の取り組みを行うこと	・キッズ健康アンバサダー事業の充実、効果検証 ・体力づくりのための健康遊具導入
79	家庭での入浴が困難な障害児を対象とした、入浴サービス等を行う事業に助成制度の導入を進めること	・入浴サービスを実施することによる障がい児の心身の健康増進や家族の負担軽減
80	市民医療センターの抜本的な経営改善を行うこと	
81	子ども若者総合相談により発達支援、自立支援を推進すること	・教育、福祉、こども部局連携拠点を設置し、0歳から30代まで切れ目のない総合相談体制を構築 ・引きこもり等の自立支援が必要な方に対するアウトリーチの強化
82	孤立・孤独・引きこもり相談体制を構築すること	・市民から通報があった場合に最後まで担当し報告する窓口の設置 ・横断的連携がとれる体制づくりの導入 ・メタバースを活用した相談、居場所・つながり支援
83	がん検診やワクチン接種等医療政策の妥当性を評価する機能を強化し、施策展開に活かすこと	・肺がん検診に低線量CT検査の導入 ・乳がん検診に超音波検査の導入 ・胃がんや食道がん検診にピロリ菌検査の導入 ・带状疱疹ワクチン接種の助成
84	がん患者への支援を行うこと	・がんのコミュニティや団体等ピアサポート支援による当事者同士の情報共有や不安軽減
85	老々介護への支援を行うこと	・仕事を辞めずに介護できる環境整備、相談支援の充実等
87	福祉避難所の運用見直しを進めること（危機管理防災課にも掲載）	・移送の判断や方法、要支援者の受け入れ環境や許容人数等様々な課題を想定し、近隣の避難所の受け入れ態勢を含めた運用の見直し検討
88	入浴介助の業者を利用者が選択できるようにすること	・現在は業者が1者入札、業者が変わると利用しづらいため、複数の業者から選択できる制度
89	全産婦支援に向けた産後ケアの体制構築を図ること	・関係団体による協議体の設置 ・全妊産婦支援に向けたメニューの拡充や手続きの簡素化 ・通所型および宿泊型の産後ケアの実施 ・民間やNPO等と連携した産後ケア支援の実施
90	高齢者への補聴器購入支援制度を創設すること	
91	市内事業者等と連携して食生活の改善を促す取り組みを実施すること	
92	心身障害者福祉センターの改善にむけた取り組みを進めること	・利用しづらい障害当事者や関係者の利用実態把握
94	[再掲]西部4施設（美笹中、西部福祉センター、美谷本小、笹目小）の建て替えに合わせた再編について地域との協働により検討すること	・学校施設への地域住民が利用できる温水プールや運動施設の併設等

こども家庭支援室、保育幼稚園課、児童青少年課

	要望（やる事）	摘要（ねらい・効果・具体策等）
95	特殊な保育（宿泊・夜間・病児）、送迎等の効率化を図り、子育て予算の効果向上を図ること	・現状の実態把握や事業の効果を検証した上での統廃合や事業効率化
96	戸田市乳幼児健康ダイヤル24の見直しを検討すること	・類似事業との統合を検討（緊急相談は埼玉県の#8000、育児相談は産後ケア事業等）
97	婚活支援メニューを拡大すること	・結婚サポートセンター、出会いイベント開催、仲人人材の発掘等
98	子育て関連の煩雑な手続きを簡略化すること	・保育、学童保育等の入園時における書類のネット申請の実施
99	家庭児童相談員等の拡充を行い、相談機能の更なる充実を図ること	・いじめ・不登校の増加や親子関係等の複合的な家庭問題への対応 ・LINEやネットでの相談体制の構築
100	子どもの居場所づくり事業の拡充・充実を図ること	・子ども食堂や学習支援等の拠点拡充と支援拡大
101	保育施設の午睡の目的と効果を見直し、園児の生活リズム改善を図ること	・個人の状況に合わせた午睡の実施
102	児童青少年の居場所や遊び場を確保するため、公園や公共施設等の充実を図ること	・ボール遊びができる環境整備（小学校区毎が理想）
103	18歳以上の引きこもりの実態把握と支援を行うこと	・窓口の明確化や周知、子ども若者総合相談窓口の検討、実態調査、関係団体との市町村プラットフォームの設置等
104	子どもの貧困対策として継続的な食事の支援を図ること	・フードリボンプロジェクトなど、日々の食事の支援対策
105	医療的ケア児に対する支援を推進すること（教育委員会にも掲載）	・医療的ケア児の実態把握 ・受け入れ年齢の見直しと受け入れ環境の整備
106	子ども条例制定をすること地域で子育て支援を推進する条例の制定と子どもの意見を施策に反映すること	
107	長期休暇期間中に子どもたちが安心して過ごせる居場所を確保すること	・夏休み・冬休みに需要が高まる学童保育施設の期間限定での増強、補完する居場所を確保
108	児童虐待を予防するため「子ども家庭センター」を拡充すること	
109	民間保育所における保育士確保のための支援をさらに拡充すること	
110	高校3年生までの医療費無償化を通院費まで拡大すること	
111	歯科医師会と連携し、フッ化物洗口の取組みを周知展開すること	

都市整備部

都市計画課、建築住宅課、都市交通課、道路管理、まちづくり区画整理室

	要望（やる事）	摘要（ねらい・効果・具体策等）
112	川岸大型物流施設近辺の道路等整備を行い、危険防止に努めること	・大型トレーラーの進入や大渋滞が予想されるため、児童生徒をはじめとした近隣住民のさらなる安全対策の実施
113	市内3駅ホームドアの設置を進めること	・転落・接触事故をなくすため、国・県との連携による早急なホームドアの設置推進
114	障害当事者の声を反映した道路整備を進めること	・点字ブロックや音響式信号等の整備 ・視覚障害者の通行の支障となっている車止めポール取り扱いについての検討・整備

115	無電柱化を推進すること	・道路幅員の確保、景観形成、バリアフリー化
116	tocoバスの収支改善と利用率向上を図ること	・路線・ダイヤの見直し。高齢者のtocoバス・路線バスの無料化・ICカード使用可
117	大規模な商業施設や物流施設等の建設が計画された場合、環境悪化が起こらないよう図ること	・川岸2丁目物流施設の事例を参考にした、将来を見越した計画や監視指導
118	人口が急増し住工混在する美女木北地区において、さらなる交通安全対策を講じること	
119	笹目川、さくら川沿いの歩道整備を行うこと	・交通安全対策及びウォーキングコース整備
120	歩道上の街路樹設置のあり方を見直すこと	・ガイドラインによる設置基準の見直し（交通安全、住民負担軽減、景観）
121	道路や街路樹等の包括管理を行うこと	・予算効率化や職員の負担軽減、地元企業の育成等大きな効果が期待される、業者と公園課等との包括委託推進 ・倒木や落ち葉による家屋の雨どい被害等街路樹の管理の徹底
122	生活道路の「コミュニティ道路」への転換を推進すること	・人と車の共存を図り地域の人々の安全な生活を担保するための、生活地域内における交通混雑、交通事故、騒音等の課題低減
123	自転車利用のルールの周知啓発と、違反者への指導を行うこと	・条例への指導要項の設定 ・市による違反者へ指導の実施
124	区画整理事業内道路の浸水ゼロに取り組むこと	
126	北戸田駅西口の駅前交通広場の整備と「まちなかウォークブル」を推進すること	
128	地域公共交通計画の策定による公共交通全体の見直しをはかること	
129	戸田市バイシクルシティ推進計画による自転車を活かしたまちづくりを推進すること	

水安全部

水) 総務課、水道施設課、下水道施設課、河川課

	要望（やる事）	摘要（ねらい・効果・具体策等）
130	さくら川治水工事の早期完了をめざすこと	・笹目川と同じ堤防高への早急な整備 ・橋も含めた工事のさらなる早期完了
131	内水被害の再発防止を進めること	・ボートコースの事前放水による貯水量の確保 ・住民への事前周知、周辺堤防の整備、菖蒲川への流路の増強等
132	関係部署と連携して道路冠水ゼロを目指した雨水対策を進めること	・公園地下等への貯留槽の整備推進 ・北大通り周辺の雨水冠水対策を強化すること ・戸田公園周辺の浸水ゼロ対策

教育委員会

教育総務課、学務課、教育政策室、学校給食課、生涯学習課、図書館、郷土博物館、彩湖自然学習センター

	要望（やる事）	摘要（ねらい・効果・具体策等）
133	小中学生保護者の金銭的負担の削減を強化すること	・制服や水着、かばん等の自由化・多様化の推進、教材費、給食費等の負担軽減

134	タブレットの不適切利用を防止すること	・視力低下や自律神経障害の防止に向けて、家庭における使いすぎや映像・ゲーム利用を抑制するため、モニタリング強化や学校主導での指導
135	図書館・図書室、その他施設における放課後の勉強スペースを増やすこと（企画財政部にも掲載）	・放課後の空き教室や図書室などの開放・遊休資産、公共施設の空きスペースの利活用
136	小中一貫校への転換、公共施設の複合化の検討を行うこと	・学校・公共施設建て替え時における検討
137	西部4施設（美笹中、西部福祉センター、美谷本小、笹目小）の建て替えに合わせた再編について、地域との協働により検討すること（企画財政部にも掲載）	・小中一貫校の設置による教育水準の向上、学校施設への地域住民が利用できる温水プールや運動施設の併設等、複合化の検討 ・TUMOセンター等、将来を見越した利用、建物活用が可能なように整備
138	教育委員の公募制導入や一般市民・保護者枠の拡大を行うこと	・保護者や地域の視点の導入
139	体育館ステージ等の段差の解消を進めること	・避難所として車いす利用者等が利用できるような環境整備
140	教室における立ち机の導入を行うこと	・集中力向上、トレーニング効果、着座による健康被害の防止
141	学校運営協議会のフィードバックを地域に対し行うこと	・地域に開かれた学校が地域住民の理解と協力を得るための情報共有
142	学校のプール授業において、公共施設や民間スポーツジムのプールを授業の場として活用すること	・カリキュラムの充実とコストの削減 ・スポーツセンタープールの活用
143	学区の見直しを行い、各学校間の規模の差、極端な遠隔通学の解消を図ること	
144	希望する小中学校に進学できるように学区外からの入学ルールの見直し	・居住地に関係せずに希望する学校への進学 ・美女木小からの中学校進学に関する特殊事情の考慮
145	小中一貫校の拡大と共に、習熟度別クラス、多学年混合クラスの導入を検討すること	・ICTによる個別最適化の教育課題を受けての習熟度別クラスの導入、小中一貫化の深化とそれに伴う学年分けの見直し、部分的な多学年混合によるリーダーシップの醸成
146	不登校やひきこもり等の子どもの環境整備や柔軟な支援を行うこと	・オンライン学習のコンテンツの充実等 ・メタバース教室などの導入
147	同一建物内におけるインクルーシブ教育を推進するため各人の教育ニーズに応じた教育環境の整備を行うこと	・地域で共に学べる環境整備「戸田市版インクルーシブ教育」の推進 ・教員等の必要な人員の配置や教室の確保による特別支援教育が必要な児童生徒の受け入れ枠の拡大
148	医療的ケア児の実態把握、看護師の配置を行うこと（こども健やか部にも掲載）	・医療的ケア児の送迎を含めた支援措置の推進
149	いじめ対策のため、子どもや保護者が相談しやすい体制づくりを更に進めること。	・子どもや保護者へのアンケートの充実
150	スクールカウンセラー（SC）やソーシャルワーカー（SSW）の常勤化など、相談体制整備を進めること	・学校における支援体制の強化 ・待遇改善、効果検証の実施 ・教職員を含めたケースカンファレンスを推進
151	児童虐待に関する予防措置を行うこと	・家族への支援 ・親子向けの児童虐待や社会的支援に関する研修 ・子ども家庭総合拠点の関わり検証
152	障害福祉教育を充実させること	・障害者との交流や研修等の時間の確保 ・福祉教育を教える人材の確保
153	ICT利用に関する相談窓口を各学校に設置すること	・家庭からの相談対応
154	ことばの教室における専任教員の増員、教室の確保を進めること	

155	デジタル機器による図書貸出券の導入、市外から貸出する書籍のリクエスト申請を進めること	
156	子どもの歯の健康について歯科医師会と連携し、フッ化物洗口を含めた取組みを周知展開すること	
157	条件付き返還免除の奨学金を新設すること	・ 貧困家庭の進学支援
158	運動会、プール授業における熱中症対策を強化すること	・ 校庭利用の時間短縮、日陰の確保
159	学校建替時においても運動会等の行事を実施すること	・ 代替地の確保や他校の他施設を使う等、建替え前と変わらない学校行事の計画実施
160	代替乳の選択を検討すること	・ 給食時に牛乳が飲めない児童生徒への配慮
161	子どもが動物とふれあうことができる環境整備を進めること	・ 全小中学校における動物飼育環境の整備 ・ みどりパル等の施設を利用した「こども動物園」創設の検討 ・ 道満などにおけるヤギによる雑草除去等の検討
162	子連れや障がいを持った方などが気兼ねなく利用できる図書館づくりを進めること	・ 図書館でのカフェ設置 ・ 点字や音訳による図書の提供 ・ 子連れでも気兼ねなく騒いだり声を出せるスペースの確保や防音対策 ・ 週3回以上の託児サービス
163	高齢者のスキルを活かした市民企画講座開催のフォローアップを進めること	・ 会社退職後の知識や経験を活かす仕組みづくり ・ 高齢者の認知症予防